

知っていますか？  
「人生会議」

# あなたらしい生き方 と あなたの医療・ケア

## 考える、話し合うことからはじめよう

人生の最期における医療・ケアのことを考えることは  
「残された人生をどう生きたいか」を考えるということ

家族と



医療介護関係者と



身近な人と



# 1. もしものとき、あなたならどうしますか？

## あなたや家族の、もしものとき

### 事例

花子さんは、治る見込みがない病気で寝たきりの状態となり、口から食事や水分を摂ることもできなくなりました。鼻から管を入れたり、おなかから胃に直接管を通すなどして、流動食を胃に注入する方法を行うかどうか、判断を求められましたが、花子さんは意思表示ができません。



### あなたがAさんの「家族」なら？

本人はどうして欲しいんだろう？  
話し合ったことがないからわからない・・・



延命処置のことをよく知らないな  
他に方法ってないのかな

家族と相談しないと決められないよ

お医者さんからしっかり説明を聞いて  
決めたいな

★ 自分のごと以上に、身近な人のことを決めるのは、難しいのではないのでしょうか  
また、必要な情報がないと判断できないこともあるでしょう。

### あなたが「Aさん」さんだったら？



できれば、延命処置は受けたくはないとは思いますが、詳しく延命処置のこと知らないからなんとも言えない

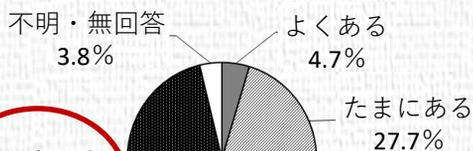
受けた場合と受けなかった場合で、その後ってどうなるんだろう

★ いざ、自分ごととして考えると難しいと感じた方も多いのでは？

## データでみる、もしものときのこと

- ① **63.8%**の方が、人生の最期について、家族と話し合ったことがない。

【人生の最期について家族と会話するか】



平成28年市民意識調査より（吹田市）

- ② もしもの時、**約70%**の方が自分で意思表示ができない。

命の危険が迫った状態になると約70%の方が、これからの治療やケア等について、自分で決めたり、人に伝えることができなくなると言われています。



💡 **ポイント** では、日頃から、もしものことを 考え、話し合い をしていればどうでしょう

## 2. 考え、話し合いをしていけば・・・

### 日頃から、考え、話し合っていた太郎さんの場合

事例

太郎さんは、がんを患っており、病状の進行により、少しずつ自分で意思表示ができない状態になってきました。そのため、代わりに太郎さんの家族が、これからの治療や療養の方針を考

太郎さんにとっての、幸せな決断ってなんだろう？

そういえば、こんな話してたなあ

たくさんのチューブにつながれて、生き続けたくはないな

わたしの想いを基本として、家族で相談して、治療方針を決めてほしい

最期まで住み慣れた自宅で過ごしたい

苦痛を和らげる処置は受けたい

なるべく家族には迷惑をかけたくない思いもある

好きな音楽はクラシック

孫のことが大好き



太郎さん

太郎さんの希望に沿った治療やケアを考え、話し合う

最期の療養生活はできる限り、在宅にしようかな

最期まで、孫の声を近くで聞けたら、お父さん喜ぶよね



太郎さんの家族



医療介護関係者

医療関係者とも話し合い、病状や治療の選択肢についてよく知ることができた

最期まで、家族と話ができるような治療を選択してあげたい

太郎さんの意思を尊重した、医療やケアの選択

あらかじめ考え、話し合うことのメリット



ポイント

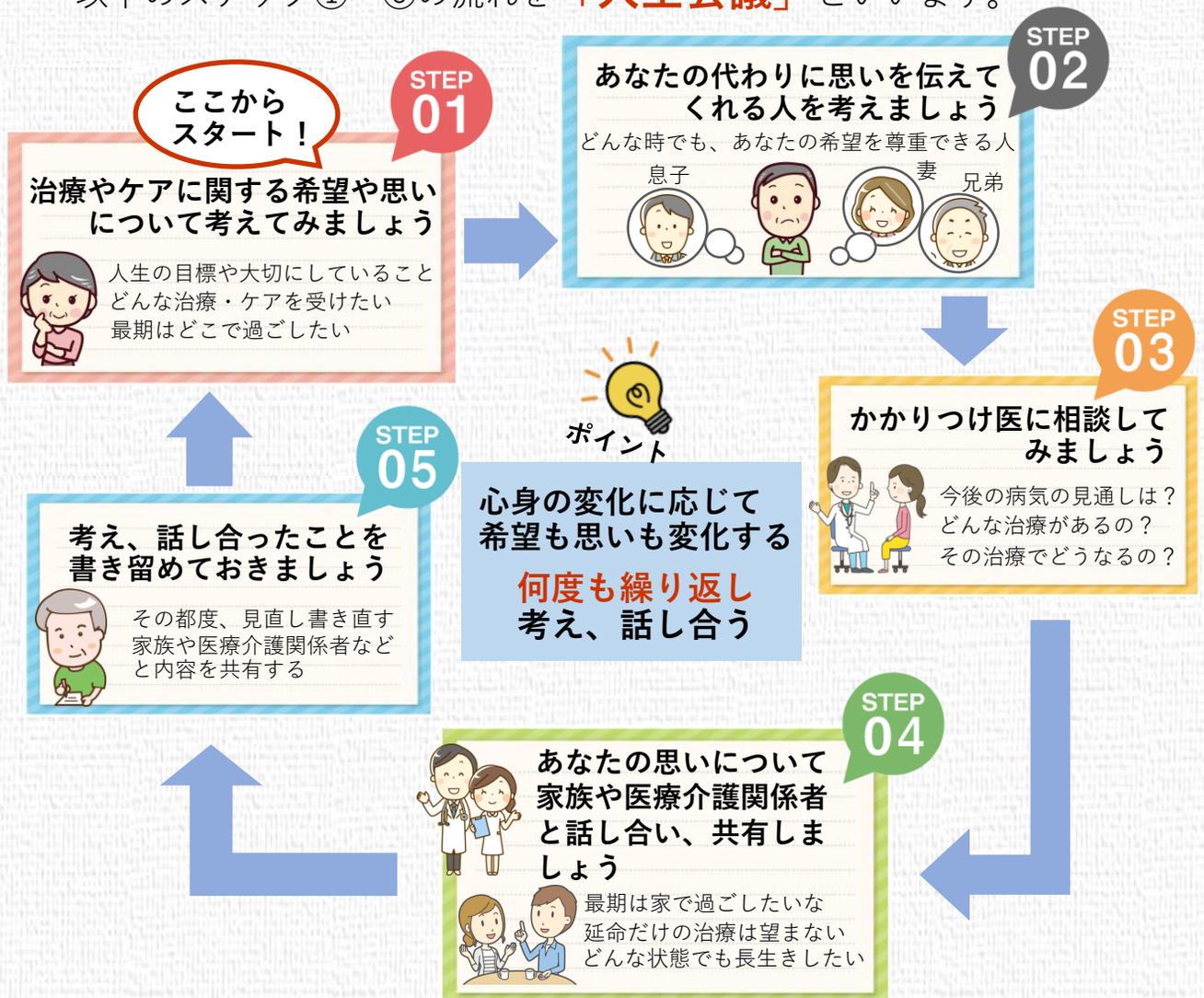
○ 人生の最期について、どこで、誰と、どのように過ごしたいかというあなたの思いが尊重されること

○ あなたに代わって、家族が治療方針等を、自信をもって決断できること

### 3. いまからできることってなに？

あなたが自分の意思を伝えられなくなった時に備えて、前もって受ける医療・ケアへの希望を、身近な人や医療介護関係者に伝えておくことが重要です。

以下のステップ①～⑤の流れを「**人生会議**」といいます。



#### いまからできることリスト

できそうなことから  
やってみよう

- もしものときのことを、家族や身近な人と考え、話し合ってみる  
「どんな医療・ケアを受けたいか」「何を大切にしておきたいか」  
「どこで誰と過ごしたいか」
- もしものとき、あなたの代わりに、思いを伝えてくれる人は誰か考えてみる
- 相談しやすいかかりつけ医を持つ、自身の病気について相談してみる
- 医療や介護の制度や仕組みを学んでみる
- 興味があるテーマの講演会に参加してみる